人づくり一本木基金　海外研修支援事業

令和２年度　研修生　募集要項（通年募集版）

□　趣旨

この事業は、工芸美術及びものづくり等の分野において、将来の活躍が期待される道内在住、又は道内出身者が海外において研修を受けるもので、その期間が概ね６カ月以上１年以内のものに対して助成金を支給し、支援します。

|  |
| --- |
| 事業の対象「工芸美術やものづくり等の分野」について |
| 分野及び例示  ○　道内における地域の産業・社会を支える、ものづくりや技能  　　　例示：地域密着型の工芸、鋳造、デザイン、（北方型）建築　など  ○　道内における文化芸術活動を支える、ものづくりや技能  　　　例示：楽器製作やメンテナンス、舞台美術や大・小道具製作、保存・修復の技能　など  ○　消費社会に溢れるものとは異なる、ものづくりや技能  　　　例示：修理（リペア）技能、再加工技能、手づくりやハンドメイド技能　など  ○　各業種を支える、ものづくりや技能  　　　例示：技能士資格のある職種（鋳造、家具製作、建具製作、陶磁器製造）　など |

□　研修内容と期間

「趣旨」に記載する要件を踏まえ、次に該当する内容とします。

（注：１年を超える研修の場合、お問い合わせください。）

（１）長期（継続して６カ月以上１年以内）

　　　特定された研修の受入先（大学、養成所、施設等）、又は個人指導者等の受入の保証があり、その期間が継続して６カ月以上１年以内の研修

（２）短期（延べ６カ月程度）

　　　将来、特定の研修の受入先（大学、養成所、施設等）への入学、入所を計画し、短期間の研修を複数回行うもので、個人指導者等の受入の保証がある研修

□　研修の開始時期

　　令和２年度内（２０２１年３月３１日まで）に、研修を開始（国内を出発、ないしは滞在先の現地で研修を開始）するものを対象とします。

（注：既に海外に滞在、研修されている方も対象とします。　詳細はお問い合わせ下さい。）

□　応募資格

　　次に掲げる要件の全てを満たす者とします。

（１）　将来の活躍が期待される道内在住、又は道内出身の者

（２）　研修終了後、道内において活動する意欲のある者

（３）　研修の受入先（大学、養成所、施設等）、又は個人指導者等の受入の保証がある者

（４）　海外での研修に必要な語学力を有する者、又は必要な語学力を習得する意欲のある者

（５）　研修に耐えうる健康状態である者

（６）　親権者等の同意がある者（未成年の場合のみ。）

□　募集人数

若干名

□　研修先

　　原則として１カ所

（注：研修先、研修地が複数になる場合も、研修内容により可能になります。お問い合わせください。）

□ 助成額（注：返済義務のない給付方式の助成金です。）

　　１００万円を限度に、渡航経費、滞在経費及び研修経費の一部に対して助成金を支給します。（注：特に必要と認める場合には、２００万円を限度とします。お問い合わせください。）

□ 申請の時期及び期限

　・　申請の時期　令和２年度内において随時受付します。

・　申請の最終期限　２０２1年３月２２日（月曜日）　※消印有効

□ 応募方法

財団ホームページから、必要な提出書類の様式をダウンロードのうえ、その他の書類とともに作成し、送付による提出とします。

（注：既に海外に滞在、研修されている方の場合はお問い合わせ下さい。）

　・　様式　別記様式１、２、３、４のとおり。

□　提出書類

（１）　研修助成申請書〔別記様式１〕

（２）　研修計画書〔別記様式２〕

（３）　研修収支予算書〔別記様式３〕

（４）　推薦書（勤務している所属先、又は師事者などから）〔別記様式４〕

（５）　課題作文（A４サイズ、横書き、８００字以内、手書き）

テーマ：「研修を活かした、ものづくりに対する将来の目標」

（６）　研修先の大学、又は施設等の受入れ承諾書〔写〕（任意の様式）

（７）　申請者が常勤的に勤務している場合は、勤務先の承認書

（８）　その他参考資料

□　提出先

　　公益財団法人北海道文化財団

〒060-0042　札幌市中央区大通西5丁目11　大五ビル　3F

人づくり一本木基金　海外研修支援事業　係　宛

□ 選考方法

財団内に設けた運営委員会において選考します。

（１）　書類選考

　　　　提出書類により選考を行います。

（２）　面接選考（場所：札幌市）

　　書類選考合格者について、必要に応じて面接により選考を行います。（面接に必要な交通費は支給します。）

〔運営委員会〕　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（職、五十音順）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 職・氏名 | | 所属団体等 |
| 委員長 | 磯 田 憲 一 | 公益財団法人北海道文化財団　理事長 |
| 副委員長 | 阿 部 典 英 | 北海道文化団体協議会　名誉会長、美術家 |
| 委　員 | 桑 原 義 彦 | 旭川家具工業協同組合　会長 |
| 佐 藤 友 哉 | 札幌芸術の森美術館　館長 |
| 藤 田 哲 也 | (株)カンディハウス　代表取締役社長 |
| （＊調整中） |  |

□ 結果発表（予定）

（１）　書類選考の結果発表

申請受付後に、発表の予定時期をお知らせし、結果は文書により通知します。

（２）　面接選考の結果発表（＊該当する場合のみ）

　　選考実施後、文書により通知します。

□ 応募に当たっての留意事項

（１）　他の海外研修制度との併用は可能とします。

（２）　提出書類は返却しません。

電子メールやファクシミリによる受付は行いません。

　　　　（注：既に海外に滞在、研修されている方の場合はお問い合わせ下さい。）

（３）　助成金は原則として研修完了承認後の清算払としますが、必要と認める場合に、研修生の申請に基づき、研修の実施時期に合わせて概算払ができます。

（４）　提出書類の内容確認のため、財団担当者から連絡することがありますので、必ず予備、複写を保管するようにしてください。

（５）　海外研修支援事業の内容については、財団ホームページなどにおいて公開します。

なお、個人情報については、財団情報公開要綱に基づいて適切に取扱います。

○お問い合わせ

|  |
| --- |
| 公益財団法人北海道文化財団　人づくり一本木基金　海外研修支援事業担当  〒060-0042　札幌市中央区大通西5丁目11　大五ビル3F  TEL011-272-0501 FAX011-272-0400　http://haf.jp |